

3 居宅サービスの状況

(1) 利用状況

平成25年4月審査分における平均利用率（居宅サービス受給者平均給付単位数の支給限度基準額（単位）に対する割合）を要介護（要支援）状態区別にみると、「要介護5」62.8%が最も高く、次いで「要介護4」59.9%、「要介護3」56.3%となっている（図3）。

また、要介護（要支援）状態区別に受給者の居宅サービス種類別の割合をみると、訪問介護及び通所介護はいずれの要介護（要支援）状態区分でも3割を超えている。訪問看護は、要介護（要支援）状態区分が高くなるに従って利用割合も高くなっている。（図4）

図3 居宅サービス受給者の平均給付単位数・平均利用率

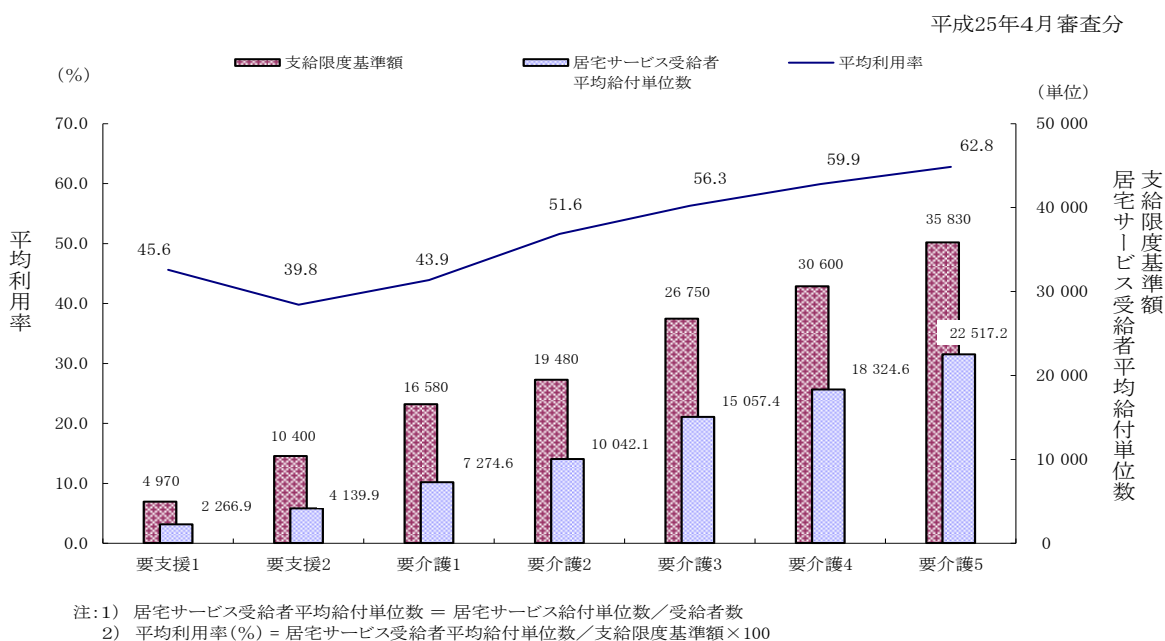
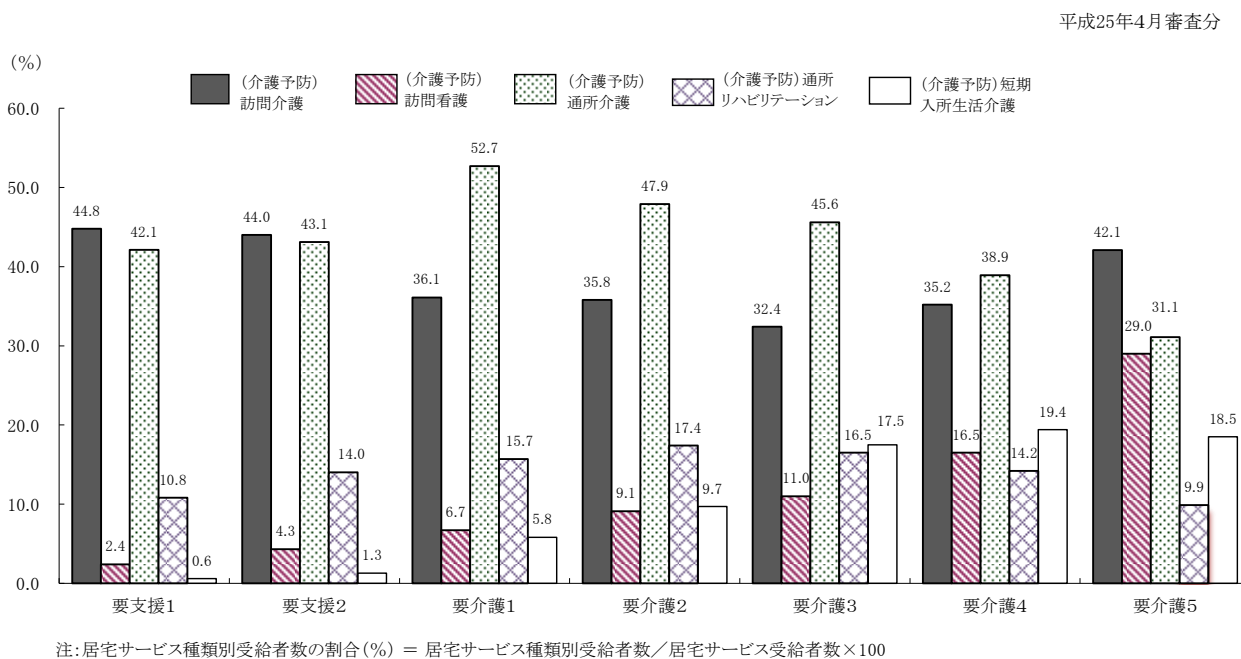


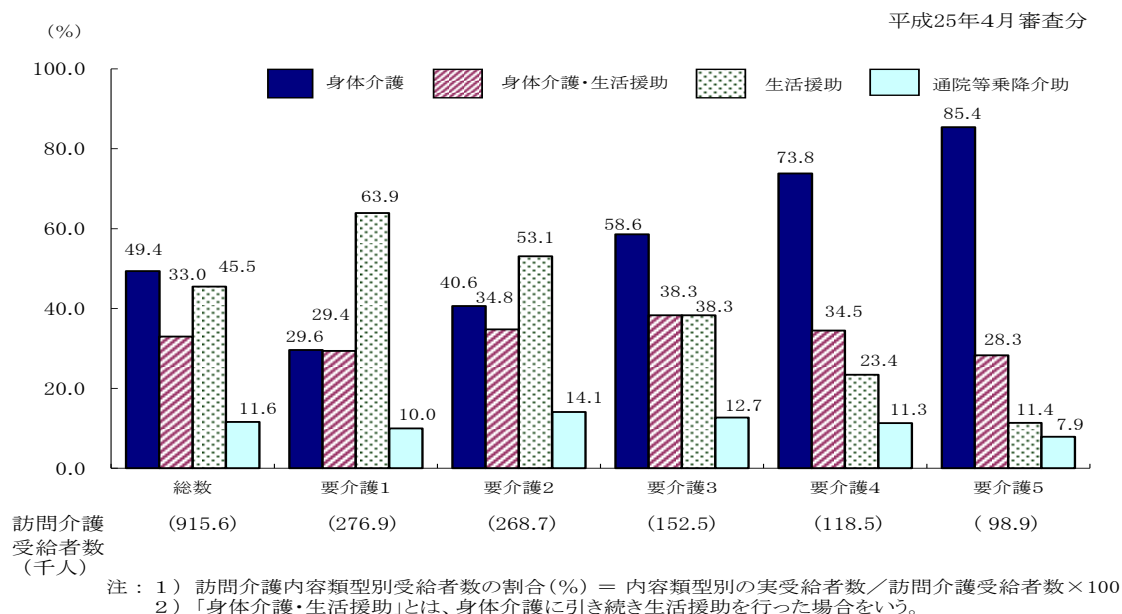
図4 要介護（要支援）状態区別にみた居宅サービス種類別受給者数の割合



(2) 訪問介護

平成25年4月審査分の訪問介護受給者について要介護状態区別に訪問介護内容種類の割合をみると、要介護1では「生活援助」63.9%、要介護5では「身体介護」85.4%となっており、要介護状態区分が高くなるに従って「身体介護」の利用割合が高くなり、「生活援助」の利用割合は低くなっている（図5）。

図5 要介護状態区別にみた訪問介護内容類型別受給者数の割合



(3) 通所介護・通所リハビリテーション

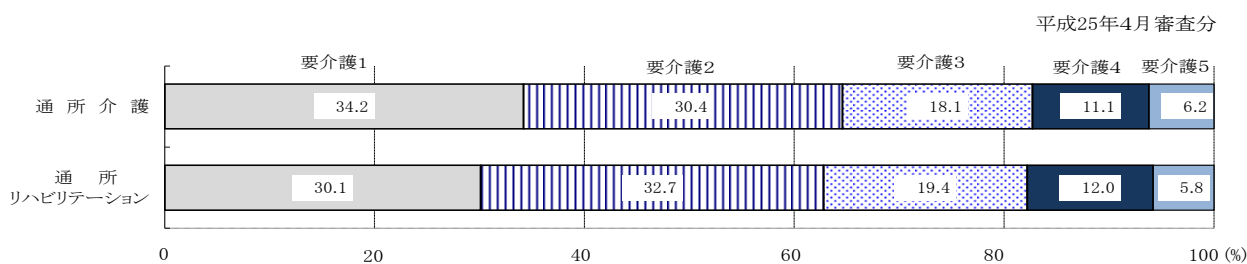
平成25年4月審査分の通所介護と通所リハビリテーションの受給者について要介護状態区別の割合をみると、「要介護1」～「要介護3」が全体の約8割を占めている（表9、図6）。

表9 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数及び割合

平成25年4月審査分

	通所介護		通所リハビリテーション	
	受給者数(千人)	構成割合(%)	受給者数(千人)	構成割合(%)
総数	1 181.3	100.0	400.2	100.0
要介護1	403.7	34.2	120.4	30.1
要介護2	359.2	30.4	130.8	32.7
要介護3	214.4	18.1	77.8	19.4
要介護4	130.9	11.1	47.9	12.0
要介護5	73.2	6.2	23.3	5.8

図6 通所介護—通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数の割合



(4) 福祉用具貸与

福祉用具貸与種目別に、1年間の単位数の割合をみると、「特殊寝台」が32.6%、「車いす」が19.7%となっており、「特殊寝台付属品」及び「車いす付属品」を含めると、特殊寝台及び車いすの貸与が全体の約7割を占めている（表10）。

また、平成25年4月審査分の要介護（要支援）状態区分別件数の割合をみると、「体位変換器」や「床ずれ防止用具」で要介護5の割合が高くなっている（図7）。

表10 福祉用具貸与種目別にみた件数・単位数

	件 数				単 位 数			
	平成24年度 (千件)	構成割合(%)	平成23年度 (千件)	対前年度 増減数(千件)	平成24年度 (千単位)	構成割合(%)	平成23年度 (千単位)	対前年度 増減数(千単位)
総数	63 124.2	100.0	57 123.0	6 001.2	24 267 741	100.0	22 508 664	1 759 077
車いす	7 214.8	11.4	6 846.5	368.2	4 789 343	19.7	4 615 742	173 601
車いす付属品	2 353.4	3.7	2 165.6	187.8	436 370	1.8	404 190	32 180
特殊寝台	8 602.3	13.6	8 047.1	555.2	7 907 307	32.6	7 456 987	450 320
特殊寝台付属品	24 449.7	38.7	22 696.2	1 753.6	3 309 663	13.6	3 099 159	210 505
床ずれ防止用具	2 627.7	4.2	2 507.9	119.8	1 697 844	7.0	1 627 016	70 828
体位変換器	294.1	0.5	262.7	31.3	72 174	0.3	69 986	2 187
手すり	9 091.3	14.4	7 156.8	1 934.5	2 513 740	10.4	1 986 005	527 735
スロープ	1 593.1	2.5	1 338.1	255.0	884 420	3.6	821 116	63 304
歩行器	4 629.7	7.3	4 017.9	611.8	1 332 932	5.5	1 166 800	166 133
歩行補助つえ	1 405.0	2.2	1 278.0	127.0	157 177	0.6	142 909	14 268
認知症老人徘徊感知機器	173.0	0.3	134.7	38.3	112 184	0.5	89 960	22 224
移動用リフト	684.4	1.1	671.5	12.9	1 049 717	4.3	1 028 794	20 924
自動排泄処理装置	5.8	0.0	-	-	4 870	0.0	-	-

注：各年度とも5月審査分～翌年4月審査分までの累計である。

図7 福祉用具貸与種目別にみた要介護（要支援）状態区分別件数の割合

平成25年4月審査分

